

Bordalo II

について



写真: Wool / Bordalo II

Owl Eyes / Olhos de Mocho / フクロウの眼

場所: Rua Alexandre Herculano / Rua do Cotovelo, Covilhã

この制作は2014年10月に、ウール、アーバンアートフェスティバルの一部として、コピリヤンの歴史的センタで遂行されました。

ボルダロIIが選んだ場所は、市の古い界隈にありましたが、衰退し、荒廃し、老朽化した地域でした。このことを念頭において、ボルダロIIは地域への材料と社会的投資を求め、廃材とスクラップを用いて、知恵と文化のシンボルである巨大なフクロウを建設しました。

Artur Bordalo akaボルダロIIは、1987年にリスボンで生まれました。若い頃、彼は2つの世界の間で自己を見つめました。一つの世界では、祖父であるアーティストアル・ボルダロが水彩画を描くのを見守っていました。もう一つの世界では、違法な落書きを創作することに時間をささげ、結果を体験しました。徐々に、彼の習慣は変わり、それらの習慣を現在生み出している芸術作品に方向付け発展させました。

ボルダロは彼が得た着想について、こう述べました。「私はコンシューマリストであり、物質主義者であり、どん欲な世代です。私たちが受けた教育は、過剰消費に向けられています。がらくた、特に技術は過剰に産出されるが、それだけではありません。私たちは多くの「ごみ」も生み出しているため、これらのがらくたの過剰消費が大幅に増加しています。「ごみ」を引用符に入れて言ったのは、それがきわめて抽象的な定義だからです。一人が出すごみは別の人の宝物です。」

問い合わせ先

ウェブサイト：<http://www.bordaloi.com/>